

製品名: SIP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17905**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	157kDa

抗原情報

遺伝子名	ZEB2
別名	ZEB2; KIAA0569; SIP1; ZFHX1B; ZFX1B; HRIHFB2411; Zinc finger E-box-binding homeobox 2; Smad-interacting protein 1; SMADIP1; Zinc finger homeobox protein 1b
遺伝子 ID	9839.0
SwissProt ID	O60315
免疫原	抗血清はヒト ZEB2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

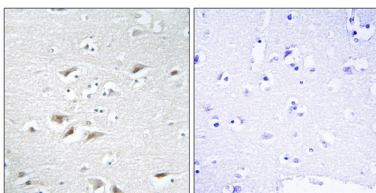
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、2本の手を持つジンクフィンガー / ホメオドメインタンパク質からなる Zfh1 ファミ

リーのメンバーです。核内に局在し、活性化 SMAD と相互作用する DNA 結合転写抑制因子として機能します。この遺伝子の変異は、ヒルシュスプルング病 / モワット・ウィルソン症候群と関連しています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010 年 1 月]、疾患: ZEB2 遺伝子の欠陥は、ヒルシュスプルング病・精神遅滞症候群 (ヒルシュスプルング病) [MIM:235730]の原因です。モワット・ウィルソン症候群 (MWS) としても知られています。ヒルシュスプルング病は、まれな常染色体優性遺伝性の複雑性発達障害です。機能的な変異を持つ患者は、精神遅滞、運動発達の遅れ、てんかん、そして頭部、心臓、迷走神経レベルの神経管症を示唆する臨床的に多様な特徴を呈する。罹患患者は、深く窪んだ眼と眼間開離、内側に開散した幅広い眉毛、突出した鼻柱、尖った顎、そして持ち上がった切れ込みのある耳たぶなど、容易に認識できる顔貌を呈する。さらに、条件的先天異常の表現型スペクトルには、低身長、小頭症、ヒルシュスプルング病、脳の奇形 (脳梁欠損、脳萎縮) および眼の奇形 (小眼球症)、発作、先天性心疾患、泌尿生殖器の奇形 (特に尿道下裂) が含まれる。ほとんどの患者において、精神運動能力と言語能力の発達が遅れている。全体として、精神遅滞の程度は少なくとも中等度であるが、特徴的な異常行動を含め通常は重度である。機能:異なるプロモーターの DNA 配列 5'-CACCT-3'に結合する転写阻害剤。E-カドヘリンの転写を抑制する。PTM:Lys-391 および Lys-866 の SUMO 化は、E3 SUMO タンパク質リガーゼ CBX4 によって促進され、CTBP1 との相互作用および転写抑制活性を阻害する。類似性:delta-EF1/ZFH-1 C2H2 型ジンクフィンガーファミリーに属します。類似性:1 つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。類似性:7 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット:活性化 SMAD1、活性化 SMAD2、および活性化 SMAD3 に結合します。SMAD4 との結合は検出されません (類似性による)。CBX4 および CTBP1 と相互作用します。

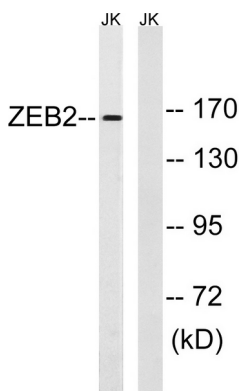
研究分野

その他の因子; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 補因子; がん; がん代謝; 代謝シグナル伝達経路; 脂質とリポタンパク質の代謝; 代謝; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 脂質とリポタンパク質の代謝; 脂質代謝; 補因子、ビタミン/ミネラル; 疾患の種類; がん

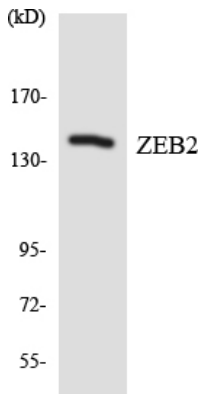
画像データ



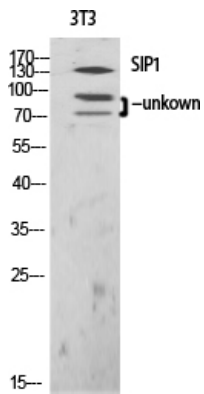
ZEB2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ZEB2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ZEB2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した SIP1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。